

## 令和5年度「卒業生等・企業等アンケート調査」集計結果

### 1. 調査目的

本学卒業生等の学生生活への満足度や学修成果、また、企業からみた本学卒業生等への評価を把握し、教育に関する内部質保証、教育のさらなる改善に役立てるため実施。

### 2. アンケート項目

別紙のとおり

### 3. 調査対象

#### (1) 卒業生アンケート

令和元年度卒業生等（卒業・修了3年後）

#### (2) 企業等アンケート

令和元年度卒業生等（卒業・修了3年後）が就職している企業等（一時的な仕事に就いた者、医学部の卒業生、教員は除く。）

### 4. 実施方法

- ・Webアンケートシステム Forms を利用してWeb上で行う。
- ・アンケート依頼ハガキ（アドレス記載）並びに登録メールアドレスに送付する。

### 5. 回答率

#### (1) 卒業生アンケート

11.84%（187件／1,579件）

12.91%（187件／1,448件）

#### (2) 企業等アンケート

20.61%（115件／558件）

20.72%（115件／553件）

## (1)卒業生アンケート

### I 基本事項について

問1 在籍していた学部・学科、研究科等をお知らせください。

所属	回答数	比率	
人文社会科学部	27	14.4%	
文化創生課程	11		
社会経営課程	16		
人文学部	3	1.6%	
人間文化課程	0		
現代社会課程	2		
経済経営課程	1		
教育学部	19	10.2%	
学校教育教員養成課程	13		
養護教諭養成課程	5		
生涯教育課程	1		
医学科	8	4.3%	
医学部保健学科	26		
看護学専攻	12	13.9%	
放射線技術科学専攻	2		
検査技術科学専攻	5		
理学療法学専攻	2		
作業療法学専攻	5		
理工学部	45		24.1%
数理科学科	8		
物理科学科	3		
物質創成化学科	6		
地球環境学科	9		
電子情報工学科	5		
知能機械工学科	14		
農学生命科学部	21	11.2%	
生物学科	5		
分子生命科学科	5		
生物資源学科	5		
園芸農学科	3		
地域環境工学科	3		
計	149	79.7%	

所属	回答数	比率
人文社会学研究科	5	2.7%
文化科学専攻	4	
応用社会科学専攻	1	
教育学研究科	5	2.7%
学校教育専攻	3	
教職実践専攻	1	
教科教育専攻	1	
養護教育専攻	0	
医学研究科	0	0.0%
保健学研究科	2	1.1%
(博士前期課程)保健学専攻	2	
(博士後期課程)保健学専攻	0	
理工学研究科	18	9.6%
(博士前期課程)理工学専攻	17	
(博士後期課程)機能創成科学専攻	0	
(博士後期課程)安全システム工学専攻	1	
農学生命科学研究科	7	3.7%
地域社会専攻	1	0.5%
計	38	20.3%

総計	187
----	-----

問2 現在の職業(業種)をお知らせください。

- (選択肢) 1. 農業・林業 2. 漁業 3. 鉱業、採石業、砂利採取業 4. 建設業 5. 製造業  
 6. 電気・ガス・熱供給・水道業 7. 情報通信業 8. 運輸業、郵便業 9. 卸売業、小売業(店員含む)  
 10. 金融業、保険業 11. 不動産業、物品賃貸業 12. 学術研究、専門・技術サービス業  
 13. 宿泊業、飲食サービス業 14. 生活関連サービス業、娯楽業 15. 教育、学習支援業  
 16. 医療、福祉 17. 複合サービス事業 18. サービス業(他に分類されないもの)  
 19. 公務 20. アルバイト・フリーター 21. 無職・家事手伝い 22. その他

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
人文社会科学部				2	2	1	1	1	3	2	
人文学部							2				
教育学部											
医学部医学科											
医学部 保健学科								1			
理工学部				3	13	2	11			1	1
農学生命科学部	2			3	3	1	2		2	1	
人文社会学研究科											
教育学研究科											
保健学研究科											
理工学研究科					8	2	3				
農学生命科学研究科					1	1					
地域社会研究科											
<b>総計</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>27</b>	<b>7</b>	<b>19</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>4</b>	<b>1</b>
比率	1.1%	0.0%	0.0%	4.3%	14.4%	3.7%	10.2%	1.1%	2.7%	2.1%	0.5%

	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
人文社会科学部				3			2	8			2
人文学部											1
教育学部				12				4	1	1	1
医学部医学科					8						
医学部 保健学科					25						
理工学部	1					2	1	8	1		1
農学生命科学部	3							3			1
人文社会学研究科		1			1		1	1		1	
教育学研究科	1							3			1
保健学研究科					2						
理工学研究科	1							3			1
農学生命科学研究科	1						1	2		1	
地域社会研究科				1							
<b>総計</b>	<b>7</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>16</b>	<b>36</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>32</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>8</b>

・地域おこし協力隊 ・スポーツライター ・大学院生 ・研究員 ・団体職員 ・テレビ局 ・マスコミ ・大学職員

問3 就職・進学先は、入学時に希望していた進路と一致しますか。

	希望どおり	大体希望どおり	希望どおりではないが満足している	希望どおりではなく満足していない	希望する進路がなかった
人文社会科学部	4	14	6	1	2
人文学部	1	1			1
教育学部	12	1	4	2	
医学部医学科	7	1			
医学部保健学科	16	6	2	1	1
理工学部	9	9	18	4	5
農学生命科学部		11	8		2
人文社会科学部	2	1	2		
教育学研究科	2	2	1		
保健学研究科		1	1		
理工学研究科	6	5	7		
農学生命科学研究科	2	1	3	1	
地域社会研究科			1		
<b>総計</b>	<b>61</b>	<b>53</b>	<b>53</b>	<b>9</b>	<b>11</b>
比率	32.6%	28.3%	28.3%	4.8%	5.9%

## II 本学在学中の教育や学生支援について

問4 教育内容に、全体として満足でしたか。

	満足だった	どちらかといえば満足だった	一概に言えない	どちらかといえば不満足だった	不満足だった
人文社会科学部	11	13	3		
人文学部	1	2			
教育学部	9	6	3	1	
医学部医学科	3	2	3		
医学部保健学科	7	13	4		2
理工学部	9	20	12	2	2
農学生命科学部	5	11	4	1	
人文社会学研究科	3	2			
教育学研究科	4	1			
保健学研究科	1	1			
理工学研究科	8	8	2		
農学生命科学研究科	3	2	1	1	
地域社会研究科		1			
<b>総計</b>	<b>64</b>	<b>82</b>	<b>32</b>	<b>5</b>	<b>4</b>
比率	34.2%	43.9%	17.1%	2.7%	2.1%

問5 学習や研究に関わる施設、設備、備品は十分でしたか。

	十分だった	不足していたが学習や研究はできた	一概に言えない	不十分で学習や研究がやりにくかった	不十分で学習や研究ができなかった
人文社会科学部	12	7	5	3	
人文学部		2	1		
教育学部	12	3	4		
医学部医学科	3	1	3	1	
医学部保健学科	16	6	3		1
理工学部	22	12	6	4	1
農学生命科学部	12	7	2		
人文社会学研究科	4	1			
教育学研究科	3	2			
保健学研究科	2				
理工学研究科	10	5	2	1	
農学生命科学研究科		4	2	1	
地域社会研究科	1				
<b>総計</b>	<b>97</b>	<b>50</b>	<b>28</b>	<b>10</b>	<b>2</b>
比率	51.9%	26.7%	15.0%	5.3%	1.1%

問6 課外活動に関わる施設、設備、備品は十分でしたか。

	十分だった	不足していたが課外活動はできた	一概に言えない	不十分で課外活動がやりにくかった	不十分で課外活動ができなかった
人文社会科学部	12	4	9	2	
人文学部		2	1		
教育学部	13	2	4		
医学部医学科	2	3	2	1	
医学部保健学科	11	5	7	2	1
理工学部	16	10	13	6	
農学生命科学部	6	3	11	1	
人文社会学研究科	4	1			
教育学研究科	3	1	1		
保健学研究科	2				
理工学研究科	9	3	5	1	
農学生命科学研究科		2	2	3	
地域社会研究科			1		
<b>総計</b>	<b>78</b>	<b>36</b>	<b>56</b>	<b>16</b>	<b>1</b>
比率	41.7%	19.3%	29.9%	8.6%	0.5%

問7 就職活動への支援は十分でしたか。

	十分だった	不足していたが就職活動に問題はなかった	一概に言えない	不十分で就職活動に苦勞した	不十分で就職活動ができなかった
人文社会科学部	11	7	7	2	
人文学部		1	2		
教育学部	12	1	4	1	1
医学部医学科	4		4		
医学部保健学科	14	8	2	1	1
理工学部	21	9	12	2	1
農学生命科学部	11	2	7	1	
人文社会学研究科	3		1	1	
教育学研究科	2	1	2		
保健学研究科			2		
理工学研究科	8	4	5	1	
農学生命科学研究科	1	2	3	1	
地域社会研究科			1		
<b>総計</b>	<b>87</b>	<b>35</b>	<b>52</b>	<b>10</b>	<b>3</b>
比率	46.5%	18.7%	27.8%	5.3%	1.6%

### Ⅲ 学生生活で感じたこと、身についたと思うことについて

問8 弘前大学では、次の①から④に掲げる知識や資質を身に付けた学生に対して、学位を授与する旨の方針を明確にしました。それらは身に付いたと思われませんか。

#### ①学際的な教養と高度な専門性

	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	6	14	5	2	
人文学部		2		1	
教育学部	7	8	1	3	
医学部医学科	4	2	2		
医学部保健学科	3	19	3		1
理工学部	8	24	7	3	3
農学生命科学部	3	14	4		
人文社会学研究科	4	1			
教育学研究科	2	3			
保健学研究科		2			
理工学研究科	8	6	4		
農学生命科学研究科	3	2	2		
地域社会研究科			1		
<b>総計</b>	<b>48</b>	<b>97</b>	<b>29</b>	<b>9</b>	<b>4</b>
比率	25.7%	51.9%	15.5%	4.8%	2.1%

②学術的観点から自然や社会を見通す力

	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	6	18	2	1	
人文学部	1	2			
教育学部	5	9	3	2	
医学部医学科	4	1	3		
医学部保健学科	3	12	9	1	1
理工学部	8	21	9	5	2
農学生命科学部	3	12	6		
人文社会学研究科	3	2			
教育学研究科	3	2			
保健学研究科	1		1		
理工学研究科	10	5	3		
農学生命科学研究科	2	4		1	
地域社会研究科		1			
<b>総計</b>	<b>49</b>	<b>89</b>	<b>36</b>	<b>10</b>	<b>3</b>
比率	26.2%	47.6%	19.3%	5.3%	1.6%

③学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力

	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	3	17	3	3	1
人文学部	1	1	1		
教育学部	1	11	2	4	1
医学部医学科	2	3	3		
医学部保健学科	1	13	10	1	1
理工学部	4	14	16	8	3
農学生命科学部	2	9	7	3	
人文社会学研究科	2	2	1		
教育学研究科	2	2	1		
保健学研究科		1	1		
理工学研究科	4	10	2	2	
農学生命科学研究科	1	2	3	1	
地域社会研究科		1			
<b>総計</b>	<b>23</b>	<b>86</b>	<b>50</b>	<b>22</b>	<b>6</b>
比率	12.3%	46.0%	26.7%	11.8%	3.2%

④常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させて

	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	7	17	3		
人文学部	1	1		1	
教育学部	6	8	3	1	1
医学部医学科	4	2	2		
医学部保健学科	3	16	5	1	1
理工学部	10	21	9	3	2
農学生命科学部	6	8	7		
人文社会学研究科	2	2		1	
教育学研究科	3	2			
保健学研究科		1		1	
理工学研究科	10	5	3		
農学生命科学研究科	2	4	1		
地域社会研究科		1			
<b>総計</b>	<b>54</b>	<b>88</b>	<b>33</b>	<b>8</b>	<b>4</b>
比率	28.9%	47.1%	17.6%	4.3%	2.1%

問9 教養教育科目について

教養教育科目の目的は、「主体的・能動的学修への転換」、「文理融合教育による多元的な視点や思考法の獲得」、「国際共通語としての英語能力の獲得」、「地域志向性（地域が持つ強みや課題の理解、課題解決への意欲等）の涵養」、「国際性（異文化理解、多文化共生等）の涵養」でしたが、それらは身に付いたと思われませんか。

①主体的・能動的学修態度

	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	4	14	6	1	2
人文学部	1	1	1		
教育学部	4	12	3		
医学部医学科	2	3	2		1
医学部保健学科	4	12	8	1	1
理工学部	7	24	8	4	2
農学生命科学部	6	7	7	1	
人文社会学研究科	2	3			
教育学研究科	2	3			
保健学研究科		1	1		
理工学研究科	6	8	2	1	1
農学生命科学研究科	1	5	1		
地域社会研究科			1		
<b>総計</b>	<b>39</b>	<b>93</b>	<b>40</b>	<b>8</b>	<b>7</b>
比率	20.9%	49.7%	21.4%	4.3%	3.7%



②多元的な視点や思考法

	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	9	14	2	2	
人文学部	1		1	1	
教育学部	4	13	2		
医学部医学科	1	4	2		1
医学部保健学科	9	11	4	1	1
理工学部	8	22	10	3	2
農学生命科学部	6	10	4	1	
人文社会学研究科	3	2			
教育学研究科	2	3			
保健学研究科			1	1	
理工学研究科	6	8	3		1
農学生命科学研究科	2	3	1	1	
地域社会研究科			1		
<b>総計</b>	<b>51</b>	<b>90</b>	<b>31</b>	<b>10</b>	<b>5</b>
比率	27.3%	48.1%	16.6%	5.3%	2.7%

③国際共通語としての英語能力

	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	3	7	8	7	2
人文学部		1	1	1	
教育学部	1	6	4	5	3
医学部医学科	1	3	3		1
医学部保健学科	1	7	9	5	4
理工学部	2	10	12	15	6
農学生命科学部	1	3	10	6	1
人文社会学研究科	2	2	1		
教育学研究科		2	3		
保健学研究科			1	1	
理工学研究科	1	1	11	2	3
農学生命科学研究科	1		4	1	1
地域社会研究科				1	
<b>総計</b>	<b>13</b>	<b>42</b>	<b>67</b>	<b>44</b>	<b>21</b>
比率	7.0%	22.5%	35.8%	23.5%	11.2%

④地域志向性

	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	5	15	3	3	1
人文学部	1	1	1		
教育学部	5	9	2	3	
医学部医学科	1	4	2		1
医学部保健学科	6	16	2		2
理工学部	7	18	13	6	1
農学生命科学部	5	7	6	2	1
人文社会学研究科	2	3			
教育学研究科	1	3	1		
保健学研究科			1		1
理工学研究科	4	7	3	3	1
農学生命科学研究科	1	4	1		1
地域社会研究科				1	
<b>総計</b>	<b>38</b>	<b>87</b>	<b>35</b>	<b>18</b>	<b>9</b>
比率	20.3%	46.5%	18.7%	9.6%	4.8%

⑤国際性

	身に付いた	どちらかといえば身に付いた	一概に言えない	どちらかといえば身に付かなかった	身に付かなかった
人文社会科学部	2	9	10	4	2
人文学部	1		1	1	
教育学部	1	7	4	5	2
医学部医学科	1	3	3		1
医学部保健学科	1	6	11	5	3
理工学部	2	8	16	15	4
農学生命科学部	1	6	8	5	1
人文社会学研究科	2	2	1		
教育学研究科		3	2		
保健学研究科			1		1
理工学研究科	1	2	9	4	2
農学生命科学研究科		2	3	1	1
地域社会研究科					1
<b>総計</b>	<b>12</b>	<b>48</b>	<b>69</b>	<b>40</b>	<b>18</b>
比率	6.4%	25.7%	36.9%	21.4%	9.6%

問10 特に仕事に関わることで、大学で学んだことや、経験が役に立っていると感じますか。

①学際的な教養と高度な専門性

	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	4	10	10	3	
人文学部		1	2		
教育学部	7	5	5	2	
医学部医学科	5	2	1		
医学部保健学科	3	19	3	0	1
理工学部	5	20	7	7	6
農学生命科学部	5	6	6	3	1
人文社会学研究科	2	2			1
教育学研究科	2	3			
保健学研究科	1		1		
理工学研究科	6	6	4	1	1
農学生命科学研究科	1	2	4		
地域社会研究科				1	
<b>総計</b>	<b>41</b>	<b>76</b>	<b>43</b>	<b>17</b>	<b>10</b>
比率	21.9%	40.6%	23.0%	9.1%	5.3%

②学術的観点から自然や社会を見通す力

	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	4	10	10	3	
人文学部	1	1	1		
教育学部	7	6	5	1	
医学部医学科	3	2	3		
医学部保健学科	2	15	7	1	1
理工学部	6	19	6	9	5
農学生命科学部	2	9	9		1
人文社会学研究科	2	2			1
教育学研究科	3	2			
保健学研究科	1	1			
理工学研究科	10	3	4		1
農学生命科学研究科	1	4	2		
地域社会研究科				1	
<b>総計</b>	<b>42</b>	<b>74</b>	<b>47</b>	<b>15</b>	<b>9</b>
比率	22.5%	39.6%	25.1%	8.0%	4.8%

③学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力

	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	4	11	6	4	2
人文学部		2		1	
教育学部	3	7	5	4	
医学部医学科	3	2	3		
医学部保健学科	1	13	7	4	1
理工学部	3	10	17	11	4
農学生命科学部	1	9	9	1	1
人文社会学研究科	2	2			1
教育学研究科	2	3			
保健学研究科		1		1	
理工学研究科	6	6	5		1
農学生命科学研究科		4	1	2	
地域社会研究科			1		
<b>総計</b>	<b>25</b>	<b>70</b>	<b>54</b>	<b>28</b>	<b>10</b>
比率	13.4%	37.4%	28.9%	15.0%	5.3%

④常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	5	13	6	3	
人文学部	2			1	
教育学部	7	7	3	2	
医学部医学科	3	3	2		
医学部保健学科	5	15	4	1	1
理工学部	11	17	12	2	3
農学生命科学部	7	8	4	1	1
人文社会学研究科	2	3			
教育学研究科	3	2			
保健学研究科		1	1		
理工学研究科	10	4	3		1
農学生命科学研究科	2	2	2	1	
地域社会研究科		1			
<b>総計</b>	<b>57</b>	<b>76</b>	<b>37</b>	<b>11</b>	<b>6</b>
比率	30.5%	40.6%	19.8%	5.9%	3.2%

問 11 仕事以外の日常生活の中で、大学で学んだことや、経験が役に立っていると感じますか。

①学際的な教養と高度な専門性

	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	4	14	5	2	2
人文学部		2		1	
教育学部	5	4	6	4	
医学部医学科	2	5	1		
医学部保健学科	2	12	7	2	3
理工学部	5	20	13	3	4
農学生命科学部	3	8	7	3	
人文社会学研究科	3	1	1		
教育学研究科	1	3	1		
保健学研究科	1		1		
理工学研究科	6	5	5	1	1
農学生命科学研究科	3	3	1		
地域社会研究科				1	
<b>総計</b>	<b>35</b>	<b>77</b>	<b>48</b>	<b>17</b>	<b>10</b>
比率	18.7%	41.2%	25.7%	9.1%	5.3%

②学術的観点から自然や社会を見通す力

	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	5	16	3		3
人文学部	1	2			
教育学部	3	9	6	1	
医学部医学科	1	4	3		
医学部保健学科	2	11	7	3	3
理工学部	2	20	14	5	4
農学生命科学部	3	12	5	1	
人文社会学研究科	3	2			
教育学研究科	2	3			
保健学研究科	1		1		
理工学研究科	7	5	4	1	1
農学生命科学研究科	2	3	2		
地域社会研究科				1	
<b>総計</b>	<b>32</b>	<b>87</b>	<b>45</b>	<b>12</b>	<b>11</b>
比率	17.1%	46.5%	24.1%	6.4%	5.9%

③学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力

	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	3	12	7	2	3
人文学部		2		1	
教育学部	1	7	6	4	1
医学部医学科	1	4	3		
医学部保健学科		12	7	4	3
理工学部	3	11	19	7	5
農学生命科学部	4	9	3	5	
人文社会学研究科	2	1	1		1
教育学研究科	1	3		1	
保健学研究科		1			1
理工学研究科	4	6	5	2	1
農学生命科学研究科		2	3	2	
地域社会研究科				1	
<b>総計</b>	<b>19</b>	<b>70</b>	<b>54</b>	<b>29</b>	<b>15</b>
比率	10.2%	37.4%	28.9%	15.5%	8.0%

④常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

	非常に役に立っている	役に立っている	一概に言えない	あまり役に立っていない	役に立っていない
人文社会科学部	7	13	6	1	
人文学部	1	1		1	
教育学部	3	12	2	2	
医学部医学科	1	5	2		
医学部保健学科	3	12	6	3	2
理工学部	6	20	15		4
農学生命科学部	7	10	3	1	
人文社会学研究科	3	2			
教育学研究科	3	2			
保健学研究科		2			
理工学研究科	6	7	3	1	1
農学生命科学研究科	3	1	2	1	
地域社会研究科				1	
<b>総計</b>	<b>43</b>	<b>87</b>	<b>39</b>	<b>11</b>	<b>7</b>
比率	23.0%	46.5%	20.9%	5.9%	3.7%

#### IV 在学生のため、今後の教育や学生支援に必要と思われること

問 12 今後どのような力を育成する教育の充実が望ましいですか。(○はいくつでも可。)

- (選択肢) 1. 専門的知識・技能 2. 基礎的知識・技能 3. 情報収集力 4. 論理的思考力  
 5. コミュニケーション力 6. 自己管理力 7. 周囲(他者)へ配慮する力 8. 倫理観  
 9. 社会的責任等の態度・志向性 10. 課題探求能力 11. 問題解決力 12. その他

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
人文社会科学部	8	8	13	13	20	16	8	9	14	9	15	
人文学部	1	1	3	2	3	1	1	1	1		1	
教育学部	9	4	4	11	11	11	8	8	2	5	8	1
医学部医学科	6	3	2	5	7	3	3	4	3	2	1	
医学部保健学科	12	8	10	9	18	9	10	10	8	6	8	1
理工学部	18	17	21	22	27	18	18	8	13	20	25	
農学生命科学部	10	10	10	11	17	11	5	5	7	9	12	1
人文社会学研究科	1	1	3	3	5	2	4	2	3	4	5	
教育学研究科	1	4	2	3	3	1	2	1		3	3	
保健学研究科	1	1	1	2	2	2	2	1	2		1	
理工学研究科	12	11	9	8	12	9	7	1	3	8	12	1
農学生命科学研究科	3	4	3	5	5	1	3	2	2	3	5	
地域社会研究科	1		1					1	1	1	1	
総計	83	72	82	94	130	84	71	53	59	70	97	4

- その他 ・研究室など身近なところに留学生がいるような、必然的に英語を学ぶモチベーションが生まれる環境  
 ・自己分析をして自分自身を良く知る機会と時間  
 ・語学力

問 13 問 12 以外のどの分野の支援を充実させることが望ましいですか。(○はいくつでも可。)

- (選択肢) 1. 部活・サークル活動(スポーツ中心) 2. 部活・サークル活動(文化・研究中心)  
 3. クラス担任制度 4. 研究室・ゼミナールの活動 5. キャリア教育  
 6. インターンシップ 7. ボランティア活動 8. 地域貢献活動 9. 海外留学  
 10. アルバイト 11. その他

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
人文社会科学部	5	6		15	8	9	4	6	5	4	
人文学部				2	1	2		2	2		
教育学部	6	5		9	8	5	5	4	6	4	1
医学部医学科	4	3		2	1				5	2	
医学部保健学科	4	4	4	15	15	9	4	4	8	6	
理工学部	13	11	3	27	16	21	3	8	9	12	2
農学生命科学部	5	4	3	12	8	9	2	3	8		
人文社会学研究科	2	3	1	3	2	1	1	3	1	3	
教育学研究科	1			4	1	1		1			
保健学研究科	1			2	2	1			1	1	
理工学研究科	6	5	1	13	4	5	1	2	3	3	
農学生命科学研究科	2	4		5	2	1	1	1	2	1	
地域社会研究科					1	1	1	1	1		
総計	49	45	12	109	69	65	22	35	51	36	3

- その他 ・金融・税金の知識  
 ・経営者と触れ合う機会



問 14 今後なんらかの形で再び本学で学ぶとしたら、どのような機会にしたいですか。

- (選択肢) 1. 資格など修得のための特定の技術的・専門的知識を学ぶ機会  
 2. 技術的知識ではない広い知識を、職業人としての実力を磨くために学ぶ機会  
 3. 必ずしも仕事・職業とは関係のないことを広く教養として学ぶ機会  
 4. その他のことで学ぶ機会  
 5. 学ぶ機会ということでは特に希望することはない  
 6. その他

	1	2	3	4	5	6
人文社会科学部	12	3	11	1		
人文学部		1	1		1	
教育学部	12	1	5			1
医学部医学科	3		2		3	
医学部保健学科	13	4	7		2	
理工学部	19	8	11	1	5	1
農学生命科学部	11	4	5	1		
人文社会学研究科	3		1		1	
教育学研究科	3		2			
保健学研究科	1	1				
理工学研究科	7	4	5		1	1
農学生命科学研究科	2	1	1		3	
地域社会研究科		1				
<b>総計</b>	<b>86</b>	<b>28</b>	<b>51</b>	<b>3</b>	<b>16</b>	<b>3</b>
比率	46.0%	15.0%	27.3%	1.6%	8.6%	1.6%

- その他
- ・ もう二度と弘前大学では学びたくない
  - ・ 資格に限らず、専門的で高度な科学
  - ・ 博士後期課程を通じた博士号取得

## (2) 企業アンケート

回答数 115 件

### I 基礎項目

#### 1. 所在地

	回答数	比率
北海道	30	26.1%
東京都	27	23.5%
青森県	22	19.1%
宮城県	8	7.0%
神奈川県	5	4.3%
岩手県	4	3.5%
山形県	3	2.6%
福島県	3	2.6%
愛知県	2	1.7%
愛媛県	2	1.7%
群馬県	2	1.7%
埼玉県	2	1.7%
岐阜県	1	0.9%
広島県	1	0.9%
秋田県	1	0.9%
新潟県	1	0.9%
大阪府	1	0.9%

#### 2. 業種

	回答数	比率
1. 農業・林業	1	0.9%
2. 漁業	0	0.0%
3. 鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%
4. 建設業	18	15.7%
5. 製造業	24	20.9%
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	3	2.6%
7. 情報通信業	14	12.2%
8. 運輸業、郵便業	1	0.9%
9. 卸売業、小売業	19	16.5%
10. 金融業、保険業	2	1.7%
11. 不動産業、物品賃貸業	3	2.6%
12. 学術研究、専門・技術サービス業	5	4.3%
13. 宿泊業、飲食サービス業	0	0%
14. 生活関連サービス業、娯楽業	0	0%
15. 教育、学習支援業	7	6.1%
16. 医療、福祉	3	2.6%
17. 複合サービス事業	0	0.0%
18. サービス業(他に分類されないもの)	5	4.3%
19. 公務	8	7.0%
20. その他	2	1.7%

#### 3. 現在の弘前大学卒業生の在職者数 (大学院修了生を含む)

	回答数	比率
0～10 人未満	87	75.7%
10～20 人未満	13	11.3%
20～50 人未満	6	5.2%
50 人以上	7	6.1%
不明	2	1.7%

## II 調査項目

### 1. 採用に当たってどのような点を重視しましたか。

#### ①幅広い教養

	回答数	比率
重視する	12	10.4%
どちらかといえば重視する	56	48.7%
一概に言えない	35	30.4%
どちらかと言えば重視しない	11	9.6%
重視しない	1	0.9%

#### ②専門分野の知識・技能

	回答数	比率
重視する	17	14.8%
どちらかといえば重視する	35	30.4%
一概に言えない	36	31.3%
どちらかと言えば重視しない	17	14.8%
重視しない	10	8.7%

#### ③職業人としての基礎的な力

	回答数	比率
重視する	31	27.0%
どちらかといえば重視する	57	49.6%
一概に言えない	20	17.4%
どちらかと言えば重視しない	5	4.3%
重視しない	2	1.7%

#### ④社会人としての基礎的な力

	回答数	比率
重視する	52	45.2%
どちらかといえば重視する	45	39.1%
一概に言えない	18	15.7%
どちらかと言えば重視しない	0	0.0%
重視しない	0	0.0%

#### ⑤課題探究・問題解決に係る基礎的な力

	回答数	比率
重視する	39	33.9%
どちらかといえば重視する	59	51.3%
一概に言えない	13	11.3%
どちらかと言えば重視しない	4	3.5%
重視しない	0	0.0%

#### ⑥その他

	回答数	比率
重視する	35	30.4%
どちらかといえば重視する	17	14.8%
一概に言えない	44	38.3%
どちらかと言えば重視しない	2	1.7%
重視しない	17	14.8%

#### その他

- ・コミュニケーション能力
- ・積極性
- ・チーム活動ができるかどうか
- ・一般常識含め、応用力やコミュニケーション力がある
- ・課外活動の経験(部活・サークル・アルバイト)
- ・企画力とコミュニケーション力
- ・共感能力、やり切る力 など
- ・協調性
- ・スピーディー、発想・アイデアのある方
- ・協力して周り仕事を進めていくことが出来るか
- ・具体化と抽象化を使い分けられる力(面接の質問で判断しています)
- ・継続して学んでいこうとする意欲
- ・仕事の分野に興味を持てるかどうか
- ・事業へ関心をもっているか
- ・自発性、創造性
- ・質問に対する理解力と適切な回答力
- ・社風を理解し何事にも積極的な姿勢、若手のリーダー的存在です。
- ・柔軟性
- ・将来の目標やビジョンなどを持っているかどうか
- ・深層学習
- ・身だしなみ
- ・人に興味を持てるかという点や、コミュニケーション
- ・他者と協同して物事にチャレンジし成果を上げる力
- ・幅広い世代の方々とのコミュニケーションが必要となるため、物おじせず前向きな気持ちで取り組める力
- ・弊社の理念に対する共感度とコミュニケーション能力
- ・論理的思考

2. 本学では、次の①から⑤に掲げる知識や資質を身に付けた学生に対して、学位を授与する方針を掲げていました。本学卒業生は、それらが身に付いていると思われませんか。

①学際的な教養と高度な専門性

	回答数	比率
身に付いている	34	29.6%
どちらかと言えば身に付いている	47	40.9%
一概に言えない	33	28.7%
どちらかと言えば身に付いていない	1	0.9%
身に付いていない	0	0%

②学術的観点から自然や社会を見通す力

	回答数	比率
身に付いている	22	19.1%
どちらかと言えば身に付いている	59	51.3%
一概に言えない	31	27.0%
どちらかと言えば身に付いていない	3	2.6%
身に付いていない	0	0%

③学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力

	回答数	比率
身に付いている	19	16.5%
どちらかと言えば身に付いている	62	53.9%
一概に言えない	30	26.1%
どちらかと言えば身に付いていない	4	3.5%
身に付いていない	0	0%

④常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

	回答数	比率
身に付いている	41	35.7%
どちらかと言えば身に付いている	54	47.0%
一概に言えない	15	13.0%
どちらかと言えば身に付いていない	3	2.6%
身に付いていない	2	1.7%

その他

- ・退職者で無断欠勤し、そのまま退職した方や、休みがちになる方がいたが、中には熱心に勉強し現在も就業中の方もいる。
- ・保守的な思考をする学生が多い印象です
- ・入社者によって差がありますので、一概に言うことができません。
- ・④について、対象の社員は入社後、自らプログラミングを学び続けました。この春、デジタル系の新部署に配属されました。
- ・目の前の課題に対して自ら取り組むことができる点が印象深いです。

3. 本学の教育について求めるものをお伺いします。

(1) 今後どのような力の育成を充実するのが望ましいと思われませんか。(3つまで可)

	回答数
1. 専門的知識・技能	12
2. 基礎的知識・技能	30
3. 情報収集力	14
4. 論理的思考力	38
5. コミュニケーション力	84
6. 自己管理能力	26
7. 周囲(他者)へ配慮する力	30
8. 倫理観	4
9. 社会的責任等の態度・志向性	21
10. 課題探求能力	36
11. 問題解決力	31
12. その他	1

(2) 上記(1)以外のどの分野の支援を充実させることが望ましいと思われませんか。(3つまで可)

	回答数
1. 部活・サークル活動(スポーツを中心に)	46
2. 部活・サークル活動(文化・研究を中心に)	0
3. クラス担任制度	1
4. 研究室・ゼミナールの活動	66
5. キャリア教育	62
6. インターンシップ	43
7. ボランティア活動	14
8. 地域貢献活動	41
9. 海外留学	8
10. アルバイト	34
11. その他	6